

高浜地区振興会 広報

はと 九鳥の峯 みね

No.42
2017
1.1

平成29年1月1日



主な内容

- 各祭の様子 2P
- 高浜地区体育祭 3P
- 天草小学校学習発表会 3P
- 公民館講座 3P
- 市民ふれあい座談会 3P
- 高浜ワイン試飲会 4P
- 関西町人会 4P
- 編集後記 4P

高浜八幡宮からの日の出

新年あけましておめでとうございます。

八幡宮は、高浜全域の氏神として崇敬を受ける神社で海拔32メートルの高台に位置し、晴れの日は浜方面から見ると隣峰寺、八幡宮へ昇る朝日が見えます。

神仏と旭光に向って今日も良い日でありますように拝んでいます。

今年一年皆様にとって良い年でありますように願っています。

振興会会长 田中 光徳

各迫祭りの様子

八幡宮の例大祭の後、高浜各迫(地区)の氏神・神社の迫祭りが9月～11月にかけて行なわれました。その様子が以下の通りです。各迫区民、協力しあって無事に執り行されました。



十五社宮



愛宕神社



諏訪神社



鈴木神社



秋葉神社



志賀神社



恵比須神社



天満宮

高浜地区体育祭



まわれ! いうこときかん!

9月25日、第46回高浜地区体育祭が中原貴ご夫妻と子供さん三人での選手宣誓に始まりました。各地区、選手集めに苦労していますが、いざ競技に向きますと、老いも若きもやはり夢中になります。私も、何年振りかに長縄跳びに選出され自分の歳と体重を忘れて必死に飛びました。人口減少、高齢化に伴い今後審議される行事になるかと思いますが、秋空の下、運動することは良いことですね。

10月30日(日)に天草小学校体育館にて、家族・地域の方々が多数参加され天草小学校学習発表会が盛大に開催されました。どの学年もこれまで学習したことと上手にまとめ元気よく発表していました。歌声もきれいで体育館によく響いていました。天草市内では本年度から全学年で英会話科の授業が始まっています。開会行事や学年の発表の中でも英語を使う機会がたくさんありました。子どもたちのがんばりを地域の方にしっかりと見てもらうことができました。子どもたちの今後の成長が楽しみです。



心を一つに合せて

講座では「私たちが健康的に過ごすためには、まず自分の体は、自分自身で守ること適度に体を動かすことも必要ですし、頭（頭脳）も動かすことが必要です。」

「しかし、本当に必要なものは、コミュニケーションの形成と考えられます。人と話をしないと、その知識を活用することができません。」とあります。その活用が大切だと思った出前講座でした。



タブレットを使った脳トレ

天草小学校 学習発表会

公民館講座

市民ふれあい座談会

あまくさカレッジ 第6回 出前講座

11月15日(火)モガの谷口淳一氏

講師に「元気に楽しく自分らしく生きる脳トレ講座」が高浜コモンであります。



質問をする平松まちづくり協議会長

10月11日、下田南コミュニティセンターにて中村市長を迎えて市民ふれあい座談会が行われました。各地区より「西天草分署は統合される高浜からなくなるのでは?」「下田南から鬼海ヶ浦までの道路整備の概要是?」「国民宿舎跡地の利活用については?」「天草町のクリーンセンターや火葬場はこの後どうなるの?」など色々な質問に対しても長はじめ担当部長が説明を行い時間いっぱいで終了しました。

温かい善意のご寄付
ありがとうございます

高浜地区

(平成28年11月30日現在)

人口	1,221人
男	558人
女	663人
世帯数	626戸

高齢化率(65歳以上)
590人(48.3%)

宮谷	孝幸様	(福岡県)
姫野	勝博様	(埼玉県)
西岡	智彦様	(東京都)
木本	幸徳様	(大阪府)
峯	敏治様	(高知県)
稻継	廣美様	(兵庫県)
古谷	正彦様	(兵庫県)
中内	陽子様	(千葉県)
幸穂様	朋子様	(神奈川県)

ふるさと応援寄付金

香典返し
(故・森 長男様
森 弘枝様) 中向

寄付金は高浜地区振興会の活動に有効に活用させていただきます。



12月3日高浜コミュニティセンターにて高浜地区振興会主催の2016年高浜ワインの試飲会に町内の30人が参加して行されました。高浜ブドウも毎年少しずつ収穫量も増え、今年はふるさと納税用に80本製造しました。テレビ新聞の取材では、今年の「ワインはコクがありおいしい」と皆さん話をされ、高浜の土地で育まれたワインの味を楽しみました。



10月30日、大阪市「中華料理除園」にて天草町出身者80名ほど出席され総会が行われました。懇親会は高浜ワインの乾杯で始まり、高浜ワインとふるさと納税のお話をさせて頂き、高浜出身者の先輩方からは「高浜地区振興会頑張ってください」と励まされた町人会でした。



それは、メ縄を練る際に長老たちが若い者を、「そがんじやか、こがんせんか」と叱咤しつつ、メ練りがなされ、祭りの準備が進められていきました。いつの時代もそうであつたと思います。良き伝統ではないでしょうか。

また、祭りが終った後には、左記(峰平、志賀さまの様子)のごとく、叱咤した方もされた方も最後は一献酌み交わして、なごやかに祭りを祝うと言う、これもまた一つの伝統とります。

今後もこの風景が残されていけばと、いや残していきたいと思えました。

ところどころで、平成29年を迎えた。皆様にとつて良い年でありますことを祈念いたします。

今号で各迫の迫祭りを紹介していますが、どの迫でも共通する風景がありました。

編集後記

高浜ワイン試飲会

関西町人会